

続日本100名城

岐阜の宝もの

国指定史跡 苗木城跡

山紫水明の絶景を望む
巨岩に築かれた山城

岐阜県中津川市

季節限定

臨時直通バス 苗木城線

JR中津川駅から苗木城跡までを結ぶ直通バスで、「苗木城」バス停から苗木城跡(三の丸跡)までは約800m、徒歩15分程でお越しいただくことができます。

運行は春、秋の土日祝日の季節限定が基本となりますが、運行スケジュール、利用料金等は変更される可能性があるため、ご利用の場合は下記バス会社へ事前にお問い合わせください。

- 運行期間 4月～5月(GWまで)及び9月～11月の土日祝日
- 利用料金 大人/片道 500円 往復 800円
小人/片道 300円 往復 400円
- お問い合わせ 北恵那交通株式会社
TEL.0573-66-1555



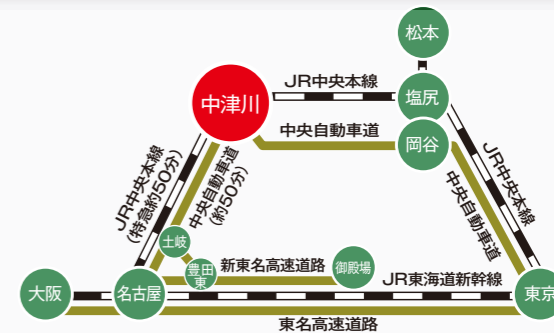
ボランティアガイド

ボランティアガイドが苗木城跡や苗木遠山史料館をご案内します。ガイドと巡ると見落しがちなスポットや歴史的な裏話が聞け、さらに楽しむことができます。ガイドと一緒に戦国ロマンの面影を感じてみませんか。

利用案内

- 所要時間 60分～ご希望に応じて
- 利用料金 個人(9名以下) 1,000円
(協力金) 個人(20名以下) 2,000円
団体(観光バス1台につき) 3,000円
- その他 苗木遠山史料館へ事前予約が必要です。12月～2月は冬期休止となります。

交通のご案内



お車の場合

- 名古屋IC → 小牧JCT経由 → 中津川IC
約71km (約50分)
- 中津川IC → 国道257号(下呂方面) → 苗木遠山史料館
約6km (約10分)
- 苗木遠山史料館 → 徒歩 → 苗木城跡(三の丸跡)
約400m (約10分)

電車の場合

- 名古屋駅 → JR 特急(約50分) → 中津川駅
- 中津川駅 → JR 快速(約1時間15分) → 苗木バス停
- 苗木バス停 → 徒歩 → 苗木城跡(三の丸跡)
約1.5km (約30分)
- 中津川駅 → バス(約10分) → 苗木城跡(三の丸跡)
約800m (約15分)
- 中津川駅 → 徒歩 → 苗木城跡(三の丸跡)
約3.5km (約1時間)



中津川市にリニア駅とリニアの車両基地ができます!

東京-名古屋-大阪を約1時間で結ぶリニア中央新幹線。中津川市に「岐阜県駅」と「中部総合車両基地」が設置され、新たな魅力が加わります。

スマホで簡単!

苗木城跡行きのバスはGoogleMapsで検索!



● お問い合わせ ●

中津川市観光案内所

TEL 0573-62-2277 FAX 0573-65-2479 / 〒508-0032 岐阜県中津川市栄町1-1 にぎわいプラザ1階
E-mail info@nakatsugawa.town URL https://nakatsugawa.town/

発行：中津川市 2025年4月



中津川市
観光情報サイト

国指定史跡

苗木城跡

苗木城跡は中津川市内を東西に流れる木曾川右岸、一段と高くそびえる山にあります。木曾川から山頂の天守跡までは、標高差約一七〇メートル。急峻な地形を生かして築かれた山城です。昭和五十六年、小藩であるものの戦国時代の面影をとどめている近世城郭であり、貴重であるとして国史跡に指定されました。現在は天守跡に展望台が設けられ、恵那山や木曾川をはじめ中津川市街が三六〇度見渡すことができ、美しい景色が見ものです。

また、晩秋の早朝などには木曾川から霧が立ち込み、幻想的な霧困気を漂わせることから、「霞ヶ城」とも呼ばれています。



苗木遠山氏

中世の苗木遠山氏の居館と城は植苗木（現・中津川市福岡）にありました。応仁の乱（一四六七―一四七七）から信濃の小笠原氏、木曾氏、次いで武田氏が美濃へ進出してくるようになりました。こうした状況の中、一五二六年に見張りに適した高森山に城を移築したのです。その後、武田信玄と織田信長が対立する時代、遠山氏は双方と縁戚関係を保ちます。

本能寺の変の後、遠山氏は森長可に城を追われ、徳川氏に身を寄せましたが、関ヶ原の戦い前に家康の指示で苗木城を十八年ぶりに奪還し、苗木領一万五百二十一石（後、五百石減）の大名となりました。

一六一五年に一国一城令で中世からの多くの城は取り壊されました。それ以降は三万石以上が城持ちで、以下は陣屋に住むことになったようです。

一万石で城持ちはいくつかありました。一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、百。

江戸時代当初から明治時代に至るまで二六〇余年、遠山氏は苗木領主として初代友政から十二代友禄にわたりこの地を治めました。

赤壁城伝説

その昔、赤土の壁であった苗木城を白く塗ることとなり、白く輝くお城に変わった時、突然空が暗くなり、嵐が訪れ、一晩中吹き荒れました。翌朝、お城の白壁は剥ぎ取られ、もとの赤壁に戻ってしまいました。

次こそはと、今度は前よりもしっかりと塗られ、それはそれは美しい、白壁のお城になりました。

ところが、またも黒い雲が現れ、激しい雨が降り、雷が鳴り始めました。すると、お城の麓の木曾川から龍が現れ、お城をいくえにも巻き、鋭い爪でガリガリと白壁を削ぎ取ってしまったのです。やがて龍は姿を消し、お城はすっかりもとの赤壁に戻りました。以降、苗木城は赤壁のままにされ、赤壁城と呼ばれるようになりました。



イメージCG 浅野孝司氏制作

苗木遠山史料館

苗木城と遠山家の貴重な資料を展示しています。苗木城の唯一残存する建築物である風吹門の柱と門扉が保管されているほか、苗木城復元模型は、建物の様子や縄張りがよくわかり、史料館を見学してから苗木城跡を訪れると、往時の雰囲気を感じることが出来ます。

また、御城印をはじめとする苗木城跡に関するお土産物や資料集なども販売。来城記念にいかがですか。



風吹門

苗木城復元模型

苗木城は岩山という地形に制約され、利用できる土地の確保が困難であったため、岩に穴をあけ、清水の舞台のように懸け造りにするなど建物にも様々な工夫がされていました。



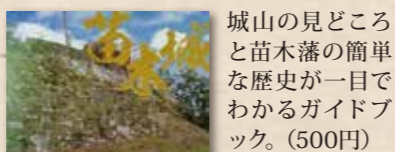
土産

赤壁伝説絵巻



表面には苗木城跡の写真と説明、裏面には赤壁城伝説と周辺の見所をイラストで紹介 (500円)

城山と歴史(冊子)



城山の見どころと苗木藩の簡単な歴史が一目でわかるガイドブック。(500円)

クリアファイル

苗木城跡の全景写真や復元CGを活用したオリジナルクリアファイル (各300円)



■ 利用案内
開館時間 9:30~17:00 (入館は16:30まで)
休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日休館)
※休館日でも無料スペース(お手洗い、土産物販売)はご利用いただけます。
12月27日~1月5日
その他臨時休館あり。

■ 入館料金 ※中学生以下無料

- 個人 330円
- 団体 270円(10名以上)



開館カレンダー

■ 基本情報
住所: 岐阜県中津川市苗木2897-2
TEL: 0573-66-8181

御城印



ステッカータイプの3種類の御城印
左から通常版、霞ヶ城、赤壁城 (各300円)



天守展望台の切り絵をあしらった御城印。
深みのあるえんじと緑色の2種類 (各800円)



オリジナルシール
※デザインはイメージ

御城印の通常版は、A1駐車場に設置されている自販機で常時購入できます。(オリジナルシール付きで500円)



市内博物館の入館無料デー限定販売のプレミアム御城印 (500円)

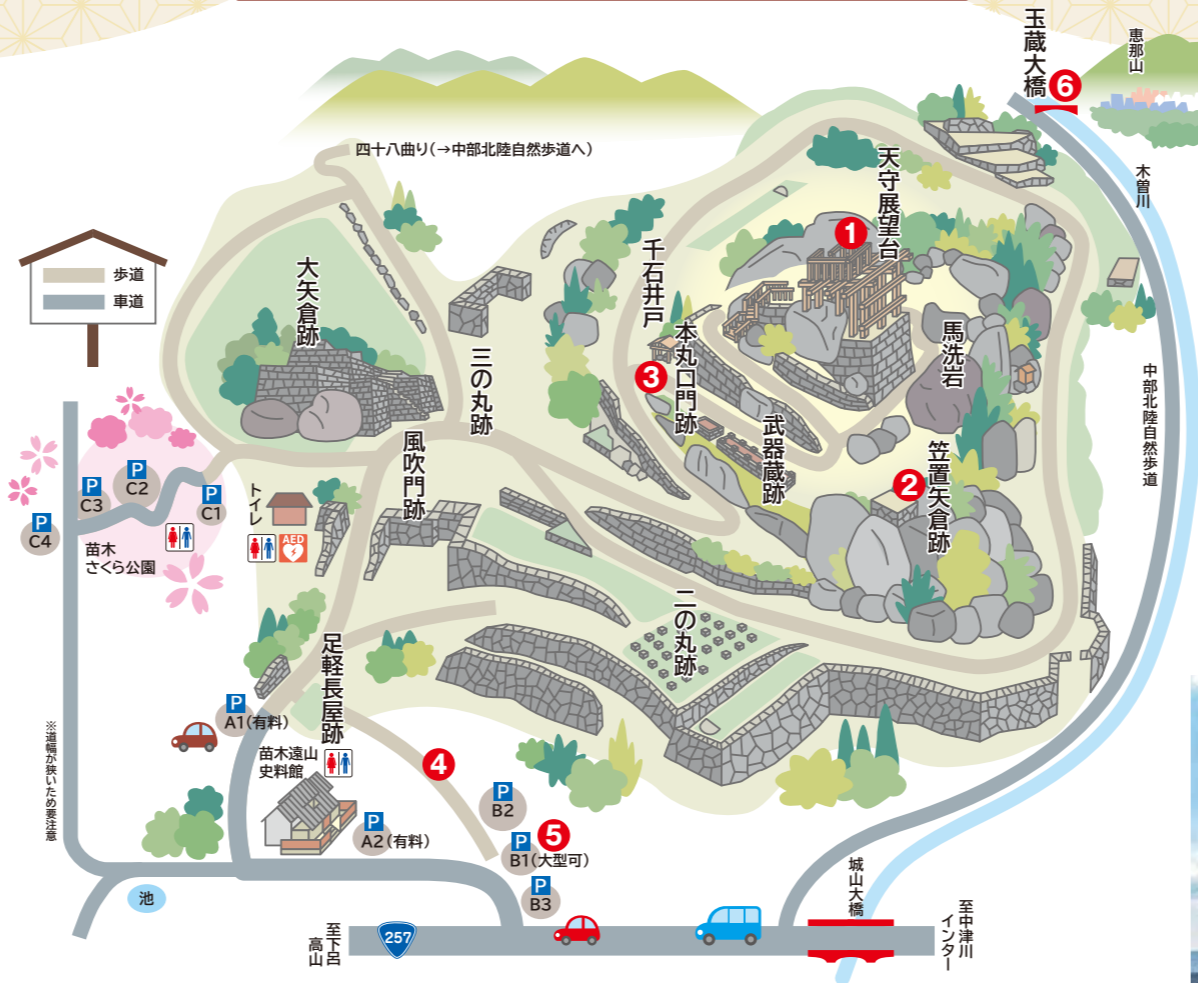
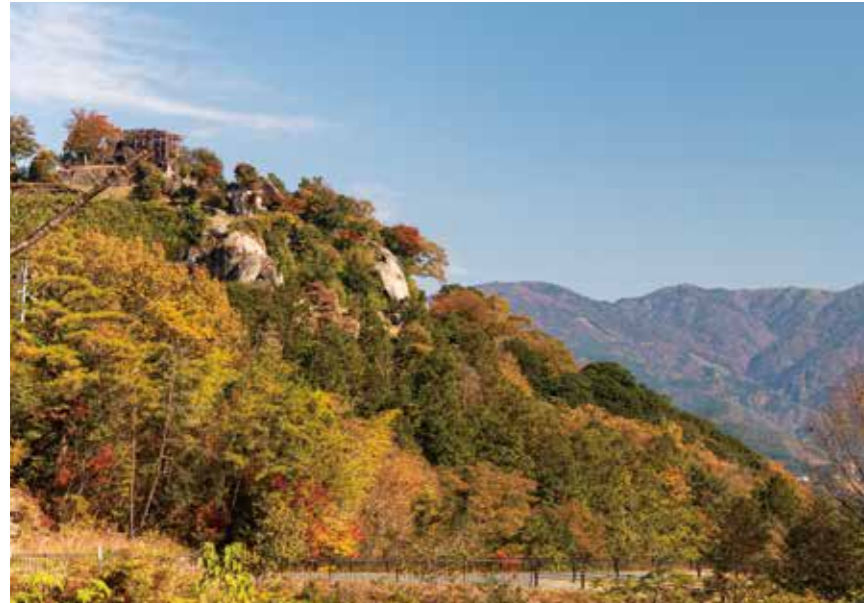
ビュースポット



ビュースポット

6 玉蔵大橋

中津川駅からのウォーキングコースの途中、木曾川にかかる橋で、旧北恵那鉄道の廃線跡と苗木城跡を望むことができます。
※玉蔵大橋付近には駐車場がありません。



ビュースポット

5 眺望デッキ (B1 駐車場)

城跡南西側からの眺望を楽しむことができ、巨岩に築かれたその姿は迫力満点。

ビュースポット

2 笠置矢倉跡

中腹にあるスポットで、城山大橋、笠置山の絶景を望むことができます。ベンチもあるためひと休みにもピッタリ。



ビュースポット

1 天守展望台

苗木城跡の一番のビュースポットで、日本百名山の恵那山、木曾川、そして中津川の市街地が一望できます。



ビュースポット

4 B1 駐車場～足軽長屋跡 散策道途中

B1 駐車場から続く散策道の途中にあるビュースポットからは雄大な恵那山を背景に佇む姿を望むことができます。



ビュースポット

3 千石井戸・本丸口門跡

天守展望台へ向かうつづら折りの坂道の途中で振り返ると、大矢倉跡を見下ろすことができます。



苗木城跡周辺観光案内



馬籠宿 木曾11宿の最南端、美濃の入口として栄えた坂の宿場町。江戸時代の宿場の風情を今に伝えています。
苗木城跡 → 車で約25分



つけち
付知峡
「森林浴の森100選」、「飛騨・美濃紅葉33選」に選ばれた渓谷。初夏の新緑、秋の紅葉とのコントラストは見事の一言です。
苗木城跡 → 車で約35分



夕森溪谷
溪谷内にある「竜神の滝」は、一日で七色変化すると言われている幻想的な滝。秋には燃えるような紅葉も楽しめます。
苗木城跡 → 車で約30分



はな
椴の湖
湖畔でキャンプや釣り、バーベキューなどアウトドアが楽しめる。湖の東にはそば畑があり、秋にはそばの花が一面に咲き誇ります。
苗木城跡 → 車で約25分



恵那峡
日本初のダム式発電所大井ダムによって生まれた景勝地。四季折々に見せる水辺の美しい表情が楽しめます。
苗木城跡 → 車で約20分



芝居小屋
地域住民によって演じられる「地歌舞伎」の舞台として、明治の時代から大切に守られてきた芝居小屋。普段は館内や舞台裏の見学ができます。



かしも明治座
苗木城跡 → 車で約40分



常盤座(見学は要予約)
苗木城跡 → 車で約10分

苗木城跡へのアクセス

奇岩

苗木城跡の周辺にはたくさんの奇岩があります。船や鰐に似た「ふな岩」、弁慶が割ったと伝えられる「弁慶岩」など、奇岩目当ての散策も楽しめます。



おぼけ岩



弁慶岩



ふな岩(丸山神社内)



苗木さくら公園

苗木城跡の北側に位置する苗木さくら公園には、約700本の桜が植えられており、春には桜が美しく咲き誇ります。毎年4月上旬には「さくら祭り」が開催されます。

